

箱食

A Bento Box That Emphasises The Enjoyment Of Eating

清水 麻央



食事を味わい、食事に向き合うための食事スタイルの提案

食の楽しさとはなにか。「味わおう」という感性を育てることが、人のなかにある「おいしい」や「楽しい」を育てるのではないだろうか。箱食による“自分で自分の食事を作り、箱に詰め、食べる”という一連の流れが、自分の食事についてより考えさせ、味わおうとする気持ちを作る。

A New Style Of Eating To Refocus What Eating Means

What is the joy in the action of consuming food? I believe that nurturing the sensibility of 'enjoying' is the key to nurturing an understanding of 'good taste'. By using a custom-designed bento box, children are encouraged to think more about their food and bring the focus back on the enjoyment in eating.



お弁当を作る

今日は何を入れようか、どんなものを食べようか、何から栄養を取ろうか。買ってきたものをこだわりなくただ食べていた受け身の姿勢から、自分で自分の食を考える能動的な姿勢に変わることは食事への思いを強める。



箱である意味

直後の食事ではなく、「ひとつ先」の自分の食事を思うことで、食欲などに邪魔されることなく、食事と、またその地続きにある健康についても考えが広がっていく。

「ひとつ先」の食事を作り置きすることは、日本人にとって馴染み深いお弁当と同じ形式である。箱だからこそ発生する「詰める」という行為の中に、おいしく食べようとする工夫が実践される。



美味しく食べるための箱

保管時に収まりが良いよう、大小の箱のサイズを規格化した。

箱の内側の角には丸みがあり、角の汚れに指先で触れた時に気が付きやすく洗しやすい。大きい箱にはヒノキを使用し、炊き立てのごはんを入れても木の調湿性により美味しさを維持し続けられる。箱とふたで、炊き上がった際の湯気に含まれる旨味も逃がさず、おいしいお米を食べることができる。